

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.815** 2022/9/30

=====

1. 【御案内】 持続可能な発展のための国際基礎科学年 (IYBSSD2022)

インタビュー第五弾 川合眞紀 自然科学研究機構 機構長

2. 【開催案内】 公開シンポジウム

「食の安全と社会:科学者の社会への伝え方」

3. 【開催案内】 九州・沖縄地区会議学術講演会

「琉球列島の言語的・文化的多様性とその起源・多様性の今とこれから」

4. 【採用情報】 学術調査員 (非常勤) (国際) を募集しています

■ -----

【御案内】 持続可能な発展のための国際基礎科学年 (IYBSSD2022)

インタビュー第五弾 川合眞紀 自然科学研究機構 機構長

----- ■

2021年12月2日に開催された国連総会において、2022年を「持続可能な発展のための国際基礎科学年 (IYBSSD)」(The International Year of Basic Sciences for Sustainable Development)とすることが決議されました (令和4年(2022年)6月30日から令和5年(2023年)6月30日までの1年間)。この取組は、持続可能な発展のための基礎科学の重要性を認め、認識を高めるよう呼びかけるもので、日本学術会議は、IYBSSD サポート機関として、本国際年に関する国内の取組を推進します。

この度、第一線で活躍する様々な学術分野の先生に、基礎科学についてのお話を伺いました。第五弾は川合眞紀 自然科学研究機構 機構長です。

「楽しみの中に科学あり 科学の中に喜びあり」

<https://www.youtube.com/watch?v=mftDq2EsW7Y> (YouTube へリンク)

今後も定期的に学術会議 YouTube チャンネルにインタビュー動画を掲載していく予定です。是非御覧ください。

○IYBSSD2022 特設ページ

https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/iybssd_s/index.html

○IYBSSD2022 プロモーションビデオ

https://www.youtube.com/watch?v=sbX_myImo28

(日本学術会議 YouTube チャンネルへリンク)

■-----
【開催案内】 公開シンポジウム
「食の安全と社会:科学者の社会への伝え方」

-----■
【日時】 2022年10月8日(土) 13:30~16:05

【場所】 オンライン開催

【主催】 日本学術会議・食の安全分科会/獣医学分科会

【共催】 株式会社リテラジャパン、北海道大学獣医学研究院、日本内分泌攪乱
化学物質学会

【開催趣旨】

研究成果を社会に発信・還元するのは研究者の義務です。しかし、その伝え方に悩んでいる研究者も少なくありません。時に社会的に関心の高い「リスク」に関する研究成果は、社会に大きなインパクトをもたらしますが、誤解を招き意図しない引用をされるケースもあります。どうしたら研究成果を社会に誤解のないように伝えることができるのか、このシンポジウムでは食の安全と社会というテーマを設定しつつ、研究者と社会の「思うところ」のギャップについて議論し、相互に正しく情報を発信・受け止める方法を模索・共有します。

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/330-s-1008.html>

【申込み】 要・事前申込み。

参加をご希望の方は、以下より事前参加申込みをお願いします。

参加を希望される方は早めに登録してください。

ポスターのQRコードもしくは下記よりご登録をお願いします。

案内：<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/330-s-1008.html>

登録：https://zoom.us/webinar/register/WN_Nkpn1-oKTFmBQLouJjdsLA

【問い合わせ先】

シンポジウム事務局：scj-tox@vetmed.hokudai.ac.jp

■-----
【開催案内】 九州・沖縄地区会議学術講演会
「琉球列島の言語的・文化的多様性とその起源・多様性の今とこれから」

-----■
【日時】 2022年10月13日(木) 15:00~17:00

【場所】 オンライン開催

【主催】 日本学術会議九州・沖縄地区会議

【共催】 琉球大学

【後援】 沖縄県、一般財団法人美ら島財団

【開催趣旨】

琉球列島の生物多様性はよく知られているが、琉球列島の言語や文化も生物に負けないほど多様な姿を見せる。そして生物多様性と同じように言語と文化の多様性も失われつつある。多様性を生み出した環境は多様性喪失に繋がる弱点でもある。本シンポジウムでは言語と文化の多様性の現状と今後の課題について意見交換する。

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/328-s-1013.html>

【申込み】要・事前申込み。以下の URL からお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/5i7jmeWHe1>

【問い合わせ先】

琉球大学 総合企画戦略部 研究推進課 研究推進係

TEL : 098-895-8016

■-----
【採用情報】学術調査員（非常勤）（国際）を募集しています。
-----■

【採用内容】

職名：内閣府 日本学術会議事務局 上席学術調査員又は学術調査員（非常勤）

採用予定者数：若干名

採用予定日：令和4年11月以降（予定）（時期は応相談）

【業務内容】

日本学術会議が加盟する国際学術会議（ISC）やIAP(InterAcademy Partnership)等の国際学術団体や各国アカデミーに関する横断的な調査分析、資料作成及び連絡調整

(1)日本学術会議が毎年度主催している「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」に関する支援業務

(2)日本学術会議が事務局の一翼を担う Future Earth プログラムに関する調査分析及び関係機関との連絡調整

(3)上記以外で、日本学術会議が国際学術交流事業を実施する上で必要となる調査分析、資料作成及び連絡調整等

【勤務条件】

勤務地：東京都港区六本木 7-22-34

勤務時間：週3日程度（応相談）

1日5時間45分（10:00～12:00；13:30～17:15）

年次休暇は非常勤国家公務員の規程により付与

任期：令和5年3月31日まで（勤務状況によっては延長もあり）

給与：上席学術調査員：日額 15,100 円又は 18,200 円／

学術調査員：日額 12,400 円

(資格、経験等によりいずれか)

賞与・昇給・交通費無し

※上記の金額は、法律等の改正及び施行に伴って変更する場合がありますので、ご承知おきください。

【応募書類受付締切日】

令和 4 年 10 月 11 日（火）必着

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

内閣府 日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）室

【募集要項】

<https://www.scj.go.jp/ja/other/chotatsu/pdf/220912.pdf>

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 Twitter

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【日本学術会議ウェブサイトの常時暗号化について】

日本学術会議ウェブサイトは 2021 年 10 月 1 日より常時暗号化通信（TLS1.2）対応いたしました。

新 URL:<https://www.scj.go.jp>

日本学術会議ウェブサイトへのリンク、お気に入り等設定している場合は、お手数ですが「https」への修正をお願いいたします。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34